

研究実施のお知らせ

研究課題名:「誤嚥・窒息リスクスクリーニングと対応表」を用いた誤嚥窒息予防への取り組み
研究期間: 2024年6月～2025年2月

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月 30 日施行)に基づき、匿名化された既存試料の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2022年12月、2024年6月、2024年12月に各病棟において10名ずつランダムに抽出した入院患者。

【研究の目的と意義】

人間の生理的欲求の一つに「食欲」があり、食事摂取は当たり前と考えられていた。2020年A病院で生じた食事時の窒息死亡事例において、食事に関する意図的な情報収集や必要とする援助が十分提供できていなかったことが課題として挙げた。

食事に関する情報収集内容の充実と、誰もが入院患者の誤嚥窒息リスクを把握し、予防実践行動がとれることが重要と考え、2021年NST委員会内で「誤嚥窒息予防チーム」を立ち上げ、誤嚥窒息に関するスクリーニング表とリスク患者への対応表を作成・活用し、一度の改定を行い現在に至る。

本研究では、看護師が共通して誤嚥窒息予防実践が取れることを目指し、本チェックシートでスクリーニングを行い、対応シートを活用した現状を分析し報告するものである。

【研究の方法】

後ろ向き観察研究

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(医師記録、看護記録、誤嚥窒息リスクチェックシート等)を研究に使用させていただきます。なお、使用の際は倫理指針などにより個人情報 を慎重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行う。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

この研究は、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

【研究の実施体制】

この研究は、以下の体制で実施されます。

研究責任者： 仙台市立病院 看護部 佐々木 裕子

研究担当者： 仙台市立病院 看護部 佐藤 浩美

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

【問合せ先】

仙台市立病院 総合サポートセンター

病床調整室 佐藤 浩美 (当院の研究責任者)

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話:022-308-7111(代表)